
活動の概要

2015 年度にシステム系の契約更新のため、ネットワーク等のシステム関係の調査や調整等の他、それらに対応した学内規程等（これは 2015 年度も継続予定）の見直しを実施した。また、スマートフォン・タブレット端末の福祉分野での活用研究会を開催し、名工大の先生らと共同研究を行った。

学内での活動

1 システム委員会

昨年度から今年度の前半に掛けて移転で変わってネットワーク不具合等が多くありそれらについての対応を行った。また、学内ネットワークや、グループウェア等の学内システムに関する業務や、ネットワーク保守業者等との定例会などに関わった。また、IAMAS 2015（卒展、期間 2/19～2/22）のネットワーク環境についてソフトピアジャパンの指定管理者・学生らと共に担当した。また、本学のシステム関係の学内規程見直しを実施し始め、来年度にあらためて完了する予定である。また、次年度の冬までの契約（H27.12.31）となっている現行のネットワーク契約更新のため県の各種委員会等に参加した。

2 新ネットワークの改更について

本学のネットワーク保守業務が H27 年 12 月となっているため、新システム入れ替えに関する検討を行い、構想書や仕様書等の作成を行った。

3 システムに関するする会議

2015 年度のシステム関係、特にネットワーク改更に関わる仕様書等の作成やシステム管理等での状況の共有や改善する等を目的として週一回程度開催した。また、ネットワーク保守業者との定例会を開催した。

4 システム関係の規程の見直し

来年度に新ネットワークへの改更等により学内規程等の見直しを行っている。また 2015 年度も引き続き対応をする。

学内外での活動

1 スマートフォン・タブレット端末を福祉分野での活用研究会（座長）

昨年度からの継続で、岐阜本巣特別支援学校の他、郡上特別支援学校等も新たにメンバーとして参加いただき、障がい児の就労支援を目的としたタブレット端末アプリについて検討する研究会を開催した。（平成 26 年度文部科学省「特別支援教育に関する実践研究充実事業（特別支援に関する NPO 等の活動・連携の支援に関する実践研究）特別支援学校の喫茶サービス実習でのタブレット端末を活用した接客支援アプリの効果的な使用方法や教育効果に関する調査事業」）

- 2 日本職業リハビリテーション学会にて就労支援を目的としたタブレット端末アプリについて発表した。
研究会で取り扱ったアプリの内容を日本職業リハビリテーション学会第 42 回岩手大会にて発表をした。

会期：2014 年 8 月 28 日（木）～29 日（金）

発表：2014 年 8 月 29 日（金）

タイトル：タブレット端末を用いたコミュニケーション活動の有用性について

場所：岩手県立大学

- 3 福祉機器フェアにて展示

福祉機器フェアにてプロジェクトと上記の研究会の内容を展示した。

日時：2014 年 11 月 11 日（火）

- 4 ATAC カンファレンス 2014 京都で発表

上記の研究会で実施して来た障がい児の就労支援向けのタブレット端末アプリとして進めてレシートプリンタやヘルプボタンを中心に、ATAC カンファレンスの研究・実践ポスター発表で発表[1]をした。また、この時より Google Play にて簡易版のアプリを公開した。

タイトル：「タブレット端末を利用した障がい児のコミュニケーション能力を拡大するための場の提供について」

日時：2014 年 12 月 6 日（土）

場所：国立京都国際会館（京都市左京区宝ヶ池）

- 5 「教育分野の IT 活用セミナー～この 1 年で何が変わったか～」で展示

今年度全体の就労支援の内容と研究会の紹介をデモ展示[3]をした。

日時：2015 年 2 月 25 日（水）

場所：ソフトピアジャパン センタービル 1F 信長像付近

- 6 特別支援教育に関する NPO 等の活動・連携の支援に関する実践研究成果発表セミナーで発表

今年度の研究会の内容を実践研究報告として口頭発表した。

タイトル「タブレット端末を利用した障がい児のコミュニケーション能力を拡大するための場の提供」実践研究報告

日時：2015 年 3 月 25 日（水）



図 1 福祉機器フェアの様子

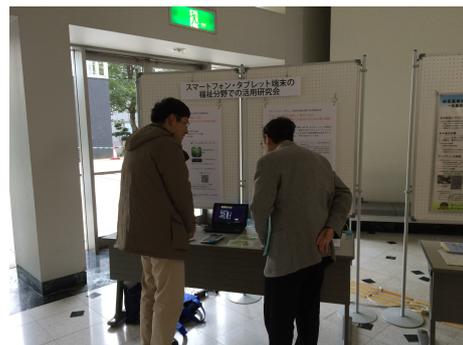


図 2 教育分野の IT 活用セミナーでのデモ発表の様子

場所：ソフトピアジャパン 10F 中会議室 1

7 感性情報に関する研究（共同研究）

名古屋工業大学 中村先生、中京大学 加納先生らと共にロボットにおける感情をどのように捉えるか、ロボットと人間が共生するためのキーとなる感性情報を扱う手法等についての共同研究を行った。

8 看護系教育コンテンツ作成を産学官連携で実施

サンメッセ（株）、教育産業（株）らのメンバーと中京学院大学、大垣女子短期大学の先生らとともに、タブレット端末を利用した教育コンテンツに関して多視点映像による看護技術タブレット教材の開発に携わった。



図 3 多視点映像の撮影の様子

学外での教育活動

1 大垣市 IT 致道館校長

大垣市情報企画課が中心に行っている小学生向けのロボット講座の校長として参加し、子供達へのアドバイス等をした。

2 朝日大学歯科衛生士専門学校で講師

朝日大学歯科衛生士専門学校で、非常勤講師として「情報処理」の講義を担当した。

3 池田町子ども会育成協議会で講師

池田町子ども会育成協議会（池田町教育委員会内）主催の池田町リーダー研修会にて「iPad でつながろう！」としてタブレット端末を利用した子ども達向けワークショップを行った。

日時：2015年3月28日（土）13:00～15:00

場所：池田町中央公民館第3会議室



図 4 ワークショップの様子

発表論文など

- [1] 山田晃嗣、渡辺崇史：「タブレット端末を用いたコミュニケーション活動の有用性について」日本職業リハビリテーション学会第42回岩手大会プログラム・発表論文集、pp98-99, Aug. 2014
- [2] 山田晃嗣、山田篤子、藤井勝敏、篠田義人、渡辺崇史、太田秀昭：「タブレット端末を利用した障がい児のコミュニケーション能力を拡大するための場の提供について」、ATAC カンファレンス京都、研究・実践ポスター発表「活動実践報告」 pp63-64, Dec. 2014

- [3] 山田晃嗣：「タブレット端末を利用した障がい児のコミュニケーション能力を拡大するための場の提供」特別支援教育に関する NPO 等の活動・連携の支援に関する実践研究成果発表セミナーにて口頭発表 March 2015
- [4] 堀陽介, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣：音印象を用いた仮想エージェントのモーションデザイン, 第 36 回東海ファジィ研究会, pp.181-185, 2014.
- [5] 磯谷順司, 牧義人, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣：筆記特徴の身体知オノマトペによる分類, 第 36 回東海ファジィ研究会, pp.171-172, 2014.
- [6] 杉本かい, 加納政芳, 中村剛士, 山田晃嗣：進化計算を用いたロボットモーションデザインへの交叉オペレータの導入, 第 36 回東海ファジィ研究会, pp.71-72, 2014.
- [7] 古橋道彦, 牧義人, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣：ロボットの能動的物理接触を用いた情報伝達, 第 36 回東海ファジィ研究会, pp.11-15, 2014.北條宏季, 磯谷順司, 戸本裕太郎, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣：オノマトペによる筆記特徴の言語化に関する一考察, 人工知能学会論文誌, vol.30, no.1, pp.291-305, 2015. pdf
- [8] Hiroki Hojo, Nozomi Nomachi, Kenichi Murata, Tsuyoshi Nakamura, Masayoshi Kanoh and Koji Yamada: A Study on Correspondence between Writing Features and Embodied Expertise Onomatopoeias, International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and International Symposium on Advanced Intelligent Systems (SCIS & ISIS 2014), Kitakyushu, Japan, December 3-6, 2014.
- [9] Kenta Kato, Masayoshi Kanoh, Koji Yamada and Tsuyoshi Nakamura: Applying the Concept of Moe to Designing a Robot's Appearance, International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and International Symposium on Advanced Intelligent Systems (SCIS & ISIS 2014), Kitakyushu, Japan, December 3-6, 2014.
- [10] Hiroki Hojo, Nozomi Nomachi, Yutaro Tomoto, Tsuyoshi Nakamura, Masayoshi Kanoh and Koji Yamada: Fundamental Study for Verbalization of Embodied Expertise based on Pattern Recognition, International Symposium on Computational Science and Intelligence, Kitakyushu, Japan, August 31 - September 4, 2014.
- [11] Hiroki Hojo, Junji Isogai, Tsuyoshi Nakamura, Yutaro Tomoto, Masayoshi Kanoh and Koji Yamada: Classification of Writing-Skill Features using Embodied Expertise Onomatopoeias, IEEE World Congress on Computational Intelligence, in DVD-ROM, Beijing, China, July 6-11, 2014.
- [12] 野町希望, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣：多次元ファジィ表現を用いたオノマトペ類似度評価, 第 38 回東海ファジィ研究会, pp.71-72, 2015.
- [13] 村田健一, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣：オノマトペ発話を用いた毛筆フォントの掠れしみ処理 第 38 回東海ファジィ研究会, pp.61-62, 2015.
- [14] 古橋道彦, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣：ルンバをベースにしたモバイルロボットの接触

による情報伝達支援, ヒューマンエージェントインタラクションシンポジウム, 2014.

[15] 加藤健太, 加納政芳, 山田晃嗣, 中村剛士: ロボットアピランスにおける“萌え”のデザイン検討, 第30回ファジィシステムシンポジウム, 2014.

[16] 古橋道彦, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 能動的な身体接触によって情報伝達するロボット AcToR の基礎的検討, 第30回ファジィシステムシンポジウム, 2014.

[17] 北條宏季, 野町希望, 村田健一, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 基本書字動作とオノマトペの関係性調査, 第37回東海ファジィ研究会, 2014.

[18] 北條宏季, 磯谷順司, 戸本裕太郎, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: オノマトペによる筆記特徴の分類, 人工知能学会全国大会, 2014.

[19] 古橋道彦, 前田光泰, 加納政芳, 山田晃嗣, 中村剛士: ロボットの身体性・移動機構を利用したタッチコミュニケーション, 人工知能学会全国大会, 2014.